

埼玉森林病院増改築工事について

2018年2月より「里山にかこまれた人々の集う癒しの病院」をコンセプトに埼玉森林病院の増改築工事が開始され、2019年3月には中央棟が完成しました。

引き続き工事を行っている状況の中、ご来院いただく皆さまには中央棟や売店へのアクセス近隣住民の皆さまには大型車両の通行や騒音にてご迷惑をお掛けしております。

工事開始から2年が経過し、2020年10月末の完成に向け管理棟等の建設、外構整備を進めております。引き続きご迷惑をお掛け致しますが、ご理解、ご協力の程宜しくお願い致します。

新生、埼玉森林病院として、地域医療により一層貢献してまいります。



完成イメージ



管理棟建築工事

診療報酬改定のお知らせ

4月1日に診療報酬が改定されました。3月までと4月からではお支払い額が異なることがあります。ご不明な点は、医事課までお問い合わせください。

行事食（ひな祭り）

【3月3日撮影】

- ・ちらし寿し
- ・お吸い物
- ・鯖の梅みそ焼き
- ・炊き合わせ



編集後記

今年度より広報委員を担当させて頂くこととなりました。

事務課として増改築、設備系等も担当しておりますので、広報を通じて皆さまに様々な情報を発信できればと思います。

どうぞよろしくお願ひ致します。

広報委員会 菊田 龍之介



医療法人昭友会 埼玉森林病院



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 704
TEL0493-56-3191 FAX0493-56-4831

埼玉森林病院のホームページ <https://www.kokoro.or.jp/saitama/>

認知機能リハビリテーション

VCAT-J(Vocational Cognitive Ability Training by Jcores)

当院では Jcores（ジェイコアーズ）というコンピュータプログラムを用いた認知機能トレーニングを実施しております。統合失調症を主とした患者さまへのリハビリテーションです。一人でも多くの方が地域に戻り生活が送られ続けるようにすることや就労・就学につなげることが目的です。

【認知機能について】

注意力や記憶力、理解すること、物事に取り組むスピード、計画を立てて実行する力のことを総称して認知機能と言います。

【認知機能リハビリテーションについて】

統合失調症の方は病気の発症や再発の際に認知機能障害が起こり、社会的な生活能力や予後に大きな影響を与えていることが、近年の研究から明らかになっています。薬物療法では機能改善が十分でないため、リハビリテーションプログラムを行い、認知機能を鍛えていきます。

【認知機能リハビリテーションのトレーニング手法について】

コンピュータプログラム上のゲームや認知課題を通じて、注意・記憶・実行機能などそれぞれのトレーニングを決められたプログラムに沿って行ないます（週2回45分～60分）。その後取り組んだ課題のプロセスをグループで振り返る言語セッション（週1回45分～60分）を実施し計12週にわたって行います。

特に言語セッションが最も重要です。認知機能障害の程度は個人によって差があります。言語セッションを通して、当事者が自分自身の認知機能から見た長所・短所を客観視できるようになることやコンピュータプログラム遂行中に用いた認知機能が、実生活のどのような場面で必要になるのか、どのように工夫すれば実生活で認知機能障害をカバーできるのかなどを話し合い（ブリッジング）、実生活へと促していくことをトレーニングしていきます。

認知機能リハビリテーションの目的は、認知機能をトレーニングして、ゲームの成績を上げることではなく、当事者自身の認知機能に関するセルフモニタリング（メタ認知）能力を高めセルフコントロール能力を高めることとなります。認知機能リハビリテーションは、あくまで当事者の就労・就学・地域生活を長期的に支援していくための一つの方法となります。

医師 吉田 真
看護部長 相原 友直

新型コロナウイルスに対する当院の対策

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、感染対策委員会において病院内外の対応を再検討しました。対策のひとつとして外部から持ち込まないことを徹底するため、患者さま、ご家族さまのご協力を頂くこととしました。

- ・ご面会について … 3月3日より全てのご面会をお断りさせて頂いております。
※洗濯物の受渡しは対応しております。
- ・患者さまの外出泊… 必要最低限の対応としております。
- ・家族懇談会 … 3月14日の開催を中止
- ・オレンジカフェ … 3月27日の開催を中止



皆さまには大変ご迷惑、ご不便をお掛けしますが、ご理解・ご協力の程お願いします。4月以降の対応に関しては、行政機関からの通達を基に、病院ホームページや院内掲示にてご案内します。

家族心理教室



昨年度は従来のプログラムに加えて、「当事者体験談」「なめがわ地域 福祉支援センター見学会」「精神科リハビリテーション」などの内容を盛り込んで、例年以上の構成で行いました。テーマは「病気の再発予防」「安定した地域生活」「いきがい」などで、ご家族同士の交流をする機会にもなり、「お互いの悩みや不安が共有できて参考になった」「当事者の体験談を聞いて勇気がもらえた」「私自身の生活も大切にしていこうと思う」などの感想をいただきました。

お陰様で当院での家族心理教室も立ち上げから7年目を迎え、ここ2年間では、入院されている患者さまのご家族に加えて、地域からの参加者が特に増えており、多くのリピーターの皆さまに支えていただき運営を行うことができます。また、情報提供では東松山市総合福祉エリアのスタッフとピアサポーターの方にもご協力をいただき、家族心理教室の場が比企地域の中で、より身近な場所として機能していることを実感しています。

今年度は秋ごろの開催を予定していますので、詳細は病院ホームページをご参照ください。皆様のご参加をスタッフ一同、心よりお待ちしております。

心理教育プログラムのご紹介

当院では、ストレスケアユニットへ入院されている方を対象にしたプログラムのひとつとして心理教育プログラムを実施しております。例えば下記のような状況において自身がどのようなことを考えているかに気づくことから始めます。

【例】ある仕事があまくいかなかったときに、「やっぱりダメだった」「もうこれから先うまくいくことはないに違いない」といった考えに囚われてしまう……。
→ たったひとつの失敗でこの先のすべてが終わったように感じてしまうのは、典型的なうつ症状のひとつです。こうした考えを自分がしていることに気づくこと、そして「そうじゃないかもしれない」ということを、医師や看護師、精神保健福祉士、作業療法士や公認心理師と一緒に検討することを心理教育プログラムの目的とします。

【令和元年度 院内事例検討会・看護研究発表会】

令和2年3月10日（火）

- 事例検討会
D病棟：退院に向けたセルフケアレベルの向上
- 看護研究発表会
A病棟：統合失調症患者を対象にした心理教育グループの実践と効果の検証
～急性期病棟での立ち上げと定着に向けた課題～
C病棟：ストレスケアユニットに入院する患者へのアロマハンドマッサージの有効性

毎年、恒例となっている本発表会は、当院スタッフが日々の業務の中での疑問改善点などをテーマとし、事例検討、研究成果とし報告、共有する行事です。院内で発表した内容は、今後、対外的な学会等で発表を行っていく予定です。



【必須研修】

- 安全管理Ⅱ 令和2年1月7日（火）、15日（水）、23日（木）
精神科病棟では症状に起因する暴力が40%あると言われ、要因として患者さま個人に起因する妄想的認知解釈、コミュニケーショントラブルなどがあります。当院では毎年疾患と暴力、対処方法（リカバリー、ディエスカレーション）などを学び、患者さまの入院生活をより安全、安心に提供してまいります。
- 精神保健福祉Ⅱ 令和2年2月12日（水）、19日（水）、26日（水）
精神保健福祉法は精神障害者の医療及び保護を図ることを目的とした法律です。精神保健福祉法の理解と成年後見制度について理解を深める研修内容となっています。

